

相生学院高等学校

<p>目標</p> <p>【学習指導要領】</p>	<p>生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み</p> <p>【指導上の留意点】</p>	<p>生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技能を身に着けるようにする。</p>
<p>評価の観点</p>	<p>【知識・技能】：自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】：自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】：自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1編生物の進化 1章生命の起源と細胞の進化 2章遺伝子の変化と進化のしくみ 1節	生物の共通性と多様性、生命の誕生について理解する。地球における酸素濃度の上昇や真核生物の誕生、突然変異について理解しする。	第1回	5月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	2章遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節	染色体と遺伝子座、遺伝の法則について理解し、活用することができる。進化の定義について理解し、遺伝子レベルでみる進化について理解する。遺伝子プールと遺伝子頻度について具体的な場面も含めて理解している。	第2回				
	5月 (11月)	3章生物の系統と進化	DNAの塩基配列に基づく系統樹・生物の系統の探究について具体的な場面も含めて理解している。生物に分類・ドメインについて理解し、活用することができる。類人猿とヒトの違いについて具体的な場面も含めて理解している。人類の出現と変遷について理解し、活用することができる。	第3回				
	6月 (11月)	2編生命現象と物質 1章細胞と物質	細胞を構成する成分・構造・はたらきについて理解する。タンパク質の構造について具体的な場面も含めて理解する。酵素としてはたらくタンパク質について具体的な場面も含めて理解する。生命現象とタンパク質について理解し、活用することができる。	第4回	スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	メディア学習により免除	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月 (12月)	2章代謝とエネルギー	代謝とエネルギーについて理解する。呼吸について具体的な場面も含めて理解する。発酵について具体的な場面も含めて理解する。光合成について理解し、活用することができる。	第5回				
	7月 (12月)	3編遺伝情報の発現と発生 1章遺伝情報とその発現	DNAの構造・複製について具体的な場面も含めて理解する。遺伝情報の流れ・RNAと転写について具体的な場面も含めて理解する。翻訳のしくみについて理解し、活用することができる。遺伝情報の変化について理解し、活用することができる。	第6回				
	9月 (1月)	単位認定試験						考査
					面接指導(単位時間) 合計			4